

平成18年度 沖縄振興特定事業計画評価表

沖縄県

平成19年6月

沖縄振興特定事業計画評価表

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

県民が安心して暮らせる安全な地域社会を形成するため、防災・消防活動等の推進を図る。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H16 年)	実績値 (H17 年)	実績値(A) (H18 年)	目標値(B) (H23 年)	達成率 (%)
消防車両等整備	%	86.0	86.2	86.3	100.0	86.3

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況である。

(A)/(B)*100

(2) 達成状況に対する説明

消防車両等整備率でみると、県全体で前年度より0.1ポイントの向上にとどまるが、平成18年度は本島北部の過疎化地域で財政基盤が脆弱であることから、車両整備が困難であった国頭地区行政事務組合消防本部及び本部町今帰仁村消防組合消防本部において車両整備を行うことができたことから、当該整備は非常に効果的であった。

3 目標達成に対する今後の取り組み

近年の市町村財政の悪化及び他の消防関係補助金の減額により、消防車両整備が進まない傾向にあることから、本交付金事業に係る重要度が相対的に上がってくるものと考えられる。今後とも自由度の高い本交付金事業に係るPRを進め、消防車両等整備率の向上に努める。

沖縄振興特定事業計画評価表

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

県民が安心して暮らせるよう、感染症の発生予防・まん延防止体制の確保など保健衛生の推進を図り、医療提供体制等の環境整備を促進する。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H16 年)	実績値 (H17 年)	実績値(A) (H18 年)	目標値(B) (H23 年)	達成率 (%)
結核患者罹患率	人/10万人	24.4	22.7	20.8	15.5	74.5

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況である。

(B)/(A)*100

(2) 達成状況に対する説明

平成17年度に引き続き、血液自動分析装置、X線自動現像乾燥機等の保健衛生設備の整備促進を図ったことにより、結核対策業務の円滑な実施が可能となり、目標達成に向け、着実に前進することができた。

3 目標達成に対する今後の取り組み

指標の目標を達成するため、引き続き保健衛生設備の更新等を行う。

沖縄振興特定事業計画評価表

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

潤いのある福祉社会を形成するため、児童の健やかな成長に資する保育環境を整備する。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H17年)	実績値(A) (H18年)	目標値(B) (H22年)	達成率 (%)
老朽公立保育所の整備率	%	55.6	56.3	69.2	81.4

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況である。(A)/(B)*100

(2) 達成状況に対する説明

県内3カ所の老朽化した公立保育所の全面改築又は大規模修繕を行ったことにより、入所児童の安全確保及び処遇の向上に資することができ、目標達成に向け前進することができた。

3 目標達成に対する今後の取り組み

指標の目標を達成するため、引き続き老朽化が著しい公立保育所の計画的整備を行う。

沖縄振興特定事業計画評価表

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

潤いのある福祉社会を形成するため、高齢者に必要な介護サービスや保健福祉サービスを提供できる施設を整備する。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H17 年)	実績値(A) (H18 年)	目標値(B) (H26 年)	達成率 (%)
特別養護老人ホームの個室ユニット化率	%	5.3	6.5	28.0	23.2

※平成18年度実績は、事業完了年度となる平成19年度の実績見込値である。

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況である。(A)/(B)*100

(2) 達成状況に対する説明

平成19年度の事業完了後には、特別養護老人ホームの個室ユニット数が従来の216室から48室増加して合計264室となる予定であり、個人の尊厳を重視した高齢者が安心して暮らせる環境づくりの充実に大きく寄与することが見込まれる。

3 目標達成に対する今後の取り組み

今般実施した事業の早期完了を図るとともに、他の既存施設の改築を進め、特別養護老人ホームの個室ユニット化に努める。

沖縄振興特定事業計画評価表

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

潤いのある学習社会を形成するため、児童・生徒の専門的な知識や技術の活用能力の向上及び児童・生徒の障害の程度・特性に応じた特殊教育を推進することで多様な人材の育成を図る。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H15年)	実績値 (H17年)	実績値(A) (H18年)	目標値(B) (H23年)	達成率 (%)
就職内定率	(%)	70.8	84.1	86.4	90.0	96.0
進路決定率	(%)	75.0	88.8	90.2	85.0	106.1

達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況をいう

$(A)/(B)*100$

(2) 達成状況に対する説明

産業教育設備整備事業については、前年度に引き続き、農業・工業・その他の産業に従事する上で必要な知識・技能を効果的に習得させる環境・設備を整備し、ジョブアドバイザーの配置やインターンシップの実施、県外求人開拓といったソフト面の支援と相まって、生徒の各種資格の取得に一層寄与するなど、効果的な事業の推進に資したことにより、目標達成に前進することができた。

盲学校・養護学校についても、前年度に引き続き、あんま・マッサージ・指圧師、はり師、灸師等国家資格取得に向けた教育カリキュラムを実施するために必要な特殊教育設備及び窯業・農業・木工作业等の職業教育実習に必要な設備を整備することにより、生徒の進学・就労への自信と意欲を向上させ、前年度を上回る進路決定率達成できた。

3 目標達成に対する今後の取り組み

産業教育設備整備については引き続き新規整備及び既存設備の更新を行い、児童・生徒の専門的な知識や技術の活用能力の向上、資格取得の促進等により、一層の就職内定率の向上に努める。

特殊教育設備整備については、児童生徒の社会参加や自立を図る教育カリキュラムを実施するため、できるだけ個々の状況に対応できる特殊教育設備の整備を図り、進路決定率の維持・向上に努める。

沖縄振興特定事業計画評価表

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

潤いのある学習社会を形成するため、児童・生徒の専門的な知識や技術の活用能力の向上、地域社会と学校の連携強化並びに児童・生徒の障害の程度・特性等に応じた特殊教育を推進することで多様な人材の育成を図る。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H16 年)	実績値(A) (H18 年)	目標値(B) (H23 年)	達成率 (%)
公立学校老朽建物の整備率	(%)	85.6	86.8	93.0	93.3

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況をいう。(A)/(B)*100

(2) 達成状況に対する説明

老朽校舎を整備するに当たり、学校・家庭・地域社会が連携協力することの重要性に鑑み、地域のもつ教育力を活かした学習活動や地域の生涯学習活動等を実施するための場、また、高齢者をはじめとする地域の人々の交流の場を備えた地域コミュニティの拠点となるよう、学校施設の整備推進を実施し、目標達成に向け前進が見られた。

3 目標達成に対する今後の取り組み

今後とも、市町村との連携を図りながら沖縄振興特別措置法に基づく高率補助を活用しつつ、老朽校舎の解消を図り、安全・安心な学校づくりに努める。

沖縄振興特定事業計画評価表

1 目標

地域特性を生かした農林水産業の振興

県特産の高品質豚肉の安定的生産を強化するため、優良種豚生産体制の維持と豚の改良増殖を図る。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H17年)	実績値(A) (H18年)	目標値(B) (H23年)	達成率 (%)
優良種豚貸付頭数	頭	37	37	37	100

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況である。(A)/(B)*100

(2) 達成状況に対する説明

県内において優良純粋種豚生産に意欲的な市町村に対し雌30頭、雄7頭の優良種豚の貸付を行い目標値を達成することが出来た。

3 目標達成に対する今後の取り組み

優良種豚の貸付については、県内養豚振興に直接結びつく事業であることから、今後とも効率的かつ地域の実情に則した事業実施に努める。